

山本邦山氏を迎えての合奏講習会&コンサート



新年おめでとうございます。

代表理事 田村拓男

「NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21」の設立は、2003 年（平成 15 年）8 月ですから、今年創立 11 年目を迎えることとなります。全国には 40 の支部があり、東京本部との連携も保ちながら、それぞれが独自の活動を展開しています。

昨年は嬉しいニュースがありました。北九州支部の東島啓子会員が北九州市民文化功労賞を受賞、また、下関支部の松崎妙子会員も市の小・中学校での指導や長年の文化活動に対して下関市から文化功労賞受賞。東京調布市では現役高校二年生の浅野宏樹君（都立若葉総合高校 2 年）と風間禅寿君（都立狛江高校 2 年）が平成 24 年度調布市青少年表彰（社会福祉活動・青少年団体活動協力）を受賞しました。これらは邦楽指導者が NPO に結集して地域の音楽発展に寄与しようという姿勢が信頼と評価を生んでいると思われる。

当法人の大きな事業は何といっても毎年 5~6 月頃、全国から会員非会員ら 100 数十名が集まって河口湖などで開かれる「合奏講習会&コンサート」です。新しい合奏曲を体験して各地に持ち帰り輪が広がっています。講習会ではそれぞれの楽器に分かれて綿密なパート練習の後に大合奏に入りますので効率的で良い仕上がりに導かれます。講習会へのゲストも藤原道山氏が毎年のように参加してくださっていることはありがたいことです。今年は人間国宝山本邦山氏と真山氏が参加される予定で、身近で指導を受け体験できることは尺八奏者のみならず参加者すべてにとっての貴重なチャンスとなります。

下関市功労者表彰（教育文化功労）を受賞して



下関支部 箏友会代表 松崎妙子
平成 25 年 11 月 28 日、下関市生涯学習プラザ宙のホールにて、中尾市長から「下関市最高の表彰です」との言葉と共に、表彰状と純銀製の七宝焼教育文化功労章（勲章）と略章（バッジ）および銀杯を戴きました。華やかな式場であまりの事の大きさに私がこのような立派なものを書いて良いのだろうかと今

後の責任の重さを感じながら、大変に緊張いたしました。これも偏に NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 のご指導に大きな力を戴いたおかげであり、また多くの方の励ましやご尽力があつての事と心より感謝申し上げます。これからも会員ともどもよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。



第 1 回北九州市民文化功労賞（伝統芸能部門）を受賞して

北九州支部 知啓会代表 東島啓子
今回の受賞は地元三曲協会の推薦、門下生や周囲の協力、そして NPO の活動が評価されたことであり、心から感謝いたします。振り返ってみると、22 歳で師範の免状を頂いて以来、ずっと思いはお箏一筋に 40 数年走り続けてきました。初めは単なる趣味でしたが、結婚してからはお箏教室として門下生を持ち、イベントや学校授業、ボランティア等、全て楽しくやってきました。

平成 15 年に NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 が発足して以来、未来への架け橋として普及活動に力を入れ始めました。文化庁事業「伝統文化子ども教室」、「文化芸術による子供の育成事業（派遣）」「伝統音楽普及促進支援事業」などに取り組めたのは、NPO に所属して、いろいろなご指導を受けたり、最新の情報を頂いたりしたおかげです。既に 66 歳を超えましたがこの歳になつて、邦楽を広めることが天命だと感じています。年齢と共に責任のある役割を頂いて重責を感じながらも、その為に尽力できる環境と仲間を本当に有難く幸せに思います。これからも後進の指導に努めながら頑張っ



調布市青少年表彰を受賞して 風間禅寿（高 2）



僕は小さな時から門傳良男師匠のもとで稽古をしてきましたが、まさか賞状が頂けるとは思ってもいませんでした。僕にとってはボランティアという感覚はなく、ただ練習に没頭してきましたが、受賞した今は、地域とかを見据えた音楽活動をしたと思っています。また新たなことにもチャレンジして邦楽の可能性を存分に楽しんでいこうと思いますので、今後とも応援よろしくをお願いします。



調布市青少年表彰を受賞して 浅野宏樹（高 2）



小学校四年の時から風間と稽古をしてきて二人共ここまで続けて同じ賞を受賞することができてとても嬉しく思っています。がここまで続けてこられたのも、風間という相方がいて師匠という恩師がいたからだと思います。今は高校の部活が忙しくて稽古に参加するのがやつのスケジュールではありますが、これからも続けていくつもりです。これからも相方と共に稽古に精進して行きます。